

令和 6 年度 第 3 回海津市自転車活用推進協議会 概要報告書

1. 開催日時／場所

令和 6 年 12 月 24 日（火）10：00～10：55／海津市役所 災害対策本部室

2. 出席者

【委員】：倉内 文孝、林 良樹、洞口 健児、松村 宏昭、（宇野 真也代理）梅田 純世、
高橋 誠、中畑 竜憲、後藤 純二、（オンライン出席）加藤 康則、笈 五郎

※ 欠席者：野村 武彦、匂坂 慎祐、鈴木 裕也、

【オブザーバー】：佐竹 隆行

【幹事】：総務企画部長、（生活・環境課長代理）課長補佐、文化・スポーツ課長、
健康課長、観光・シティプロモーション課長、（建設都市計画課長代理）部長

【事務局】：企画課長、企画課課長補佐

3. 会議概要

（1）協議事項

①海津市自転車活用推進計画（案）について

○「資料 1」に基づき、計画骨子（案）について、前回からの変更箇所を説明した

○「資料 2」に基づき、計画（素案）について説明し、委員からの意見を求めた

○委員からの主な意見

- ・＜安全安心＞の具体像について、「安心して自転車を利用できるまち」としているが、自転車交通安全の向上が図られれば、自転車利用に限らず、市全体として安全安心が図られることになるため、ここは、「安心して移動できるまち」や「安心して交通できるまち」など、自転車利用に限定しない方がいいのではないか。
- ・＜都市環境＞の評価指標がサイクルステーションの設置数となっているが、ここは、自転車通行空間や自転車利用環境に関連する指標とした方がいいのではないか。（県計画では、自転車通行空間の整備延長（km）しており、サイクルステーションの設置数は＜観光振興＞での指標としている）
- ・＜安全安心＞の評価指標のヘルメット着用率について、目標値が 40%となっているが、これは目標が低すぎるのではないかと。最低でも 60～70%くらいではないかと。（県計画では、100%とする予定）
- ・道の駅クレール平田の整備について、「県、国に対し、要望、働きかけを行います。」とあるが、クレール平田は、県の管理部分と市の管理部分があるので、県と市が“共に”や“一緒に”「整備する」とした方がいいのではないか。
- ・庭田山頂公園の整備はサイクリストにとってありがたい。現在、庭田山頂公園の木造の公園看板が劣化しているため、新しくフォトスポットとなるようなモニュメントを設置してほしい。サイクリストはフォトスポットを目指してやってくるため、大きな効果があると思う。

- ・「木曽三川下流域」でのサイクルツーリズムの推進が盛り込まれているが、県計画では「木曽三川流域一体での新たなサイクルツーリズム」を推進することとする予定であるので、できれば合わせてもらった方がいいのではないかな。
- ・市の自転車計画全体をブランディングする形で、統一したネーミングを考えてみてはどうか。
- ・全体的に、ぼんやりとした計画となっている。海津市の自転車を取り巻く環境や資源は、非常に恵まれており、世界中から来てもらえるものを秘めている。世界にPRできるように計画にすべき。尖った、インパクトのあるワードを用いてPRすべきではないかな。
- ・クレール平田をサイクリストの活動拠点化とするためには、平田リバーサイドプラザの駐車場を拡張した方が早く実現できるのではないかな。また、もっと朝早く入場できるようにすべきではないかな。
- ・サイクルルートは、拠点施設をベースにラウンドできるコースにすべき。また、短いコースとコースをつなぐルートを設定すべき。

○会議後、さらに意見がある場合は「資料3」の様式等で提出をお願いした

●いただいた意見は、計画案に反映していく

②今後の策定スケジュールについて

○「資料4」に基づき、今後のスケジュール案を説明した

○1月中旬まで委員からの意見を受け付け、それを踏まえて計画案を作成する

○計画案について、2月1日からパブリックコメントの募集を行う予定

●スケジュールについては、意見なし